



2024年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2023年11月14日

上場会社名 株式会社 久世 上場取引所 東
コード番号 2708 URL https://www.kuze.co.jp
代表者 (役職名)代表取締役社長 (氏名)久世 真也
問合せ先責任者 (役職名)取締役 (氏名)市川 明夫 (TEL)03(3987)0018
コーポレートサポート本部長
四半期報告書提出予定日 2023年11月14日 配当支払開始予定日 —
四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
四半期決算説明会開催の有無 : 有 (動画配信を予定しております)

(百万円未満切捨て)

1. 2024年3月期第2四半期の連結業績(2023年4月1日~2023年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期第2四半期	31,546	20.4	907	—	933	989.0	1,239	—
2023年3月期第2四半期	26,192	36.3	59	—	85	—	104	—

(注) 包括利益 2024年3月期第2四半期 1,499百万円(670.2%) 2023年3月期第2四半期 194百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益		潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益	
	円	銭	円	銭
2024年3月期第2四半期	267	90	—	—
2023年3月期第2四半期	22	78	—	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2024年3月期第2四半期	24,499	5,890	24.0
2023年3月期	20,794	4,446	21.4

(参考) 自己資本 2024年3月期第2四半期 5,890百万円 2023年3月期 4,446百万円

2. 配当の状況

	年間配当金						
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計		
	円	銭	円	銭	円	銭	
2023年3月期	—	0	00	—	12	00	
2024年3月期	—	0	00	—	—	—	
2024年3月期(予想)	—	—	—	12	00	12	00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2024年3月期の連結業績予想(2023年4月1日~2024年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円	銭
通期	65,000	15.1	1,700	101.8	1,730	92.1	1,740	109.0	376	11

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無

(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

新規 一社(社名) 、除外 一社(社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

2024年3月期2Q	4,626,327株	2023年3月期	4,626,327株
2024年3月期2Q	30株	2023年3月期	一株
2024年3月期2Q	4,626,321株	2023年3月期2Q	4,570,729株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(四半期累計)

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	9
(収益認識関係)	11

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国の経済は、新型コロナウイルス感染症が5類に移行された後、行楽地への人出の増加や、猛暑による季節ものの消費が伸びるなど、引き続き経済活動は堅調に推移しました。しかしながら、円安の進行やウクライナ情勢の影響などによる諸物価の高騰が続き、更に広範な業種での人手不足が、ますます顕著になるなど、今後の景気の動向は依然不透明な状況にあります。

当社グループが事業活動の中心としております外食・中食市場につきましては、仕入コストの上昇や人手不足は続いているものの、インバウンドの復調もあり、繁華街や行楽地への人出が増加し、また企業活動の活発化もあり集客面では引き続き好調を維持しております。

当社グループはこのような状況のなか、お客様の課題解決に尽力し、人手不足に対応する簡便調理品の提案や、収益向上と付加価値のあるメニューや商品の提案を進めました。また引き続きDX化によるお客様の利便性の向上を図るとともに、中食・惣菜、給食関連等の業態への営業活動も強化してまいりました。

その結果、当第2四半期連結累計期間の業績につきましては、売上高は315億46百万円(前年同期比20.4%増)、営業利益は9億7百万円(前年同期は59百万円の営業利益)、経常利益は9億33百万円(前年同期比989.0%増)、親会社株主に帰属する四半期純利益は12億39百万円(前年同期は1億4百万円の親会社株主に帰属する四半期純利益)となりました。

セグメントの業績を示すと、次のとおりであります。

(食材卸売事業)

当セグメントにおきましては、お客様への営業活動の強化と市場の回復により売上と利益の確保を進めました。このような結果、売上高は287億16百万円(前年同期比21.3%増)、セグメント利益(営業利益)は11億25百万円(前年同期比233.9%増)となりました。

(食材製造事業)

当セグメントにおきましては、主に連結子会社キスコフーズ株式会社が食材製造を行っております。世界的な原材料やエネルギー価格の高騰に加え、円安の影響により仕入コストの上昇が続いております。原材料仕入の工夫と工場内での一部工程の内製化によりコストを抑え、適正な販売価格の設定と新商品の開発にも努めました。このような結果、売上高は27億78百万円(前年同期比12.3%増)、セグメント利益(営業利益)は2億17百万円(前年同期比159.4%増)となりました。

(不動産賃貸事業)

当セグメントにおきましては、主に連結子会社を対象に不動産賃貸を行っております。当事業の売上高は70百万円(前年同期比0.7%増)、セグメント利益(営業利益)は55百万円(前年同期比7.1%増)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第2四半期連結会計期間の総資産は、前連結会計年度末に比べ37億5百万円増加し、244億99百万円となりました。これは主として現金及び預金が19億73百万円、受取手形及び売掛金が1億85百万円、商品及び製品が2億65百万円、原材料及び貯蔵品が1億35百万円、投資有価証券が3億7百万円増加したことによるものです。

当第2四半期連結会計期間の負債は、前連結会計年度末に比べ22億60百万円増加し、186億8百万円となりました。これは主として短期借入金が4億67百万円、1年内返済予定の長期借入金が1億17百万円減少し、支払手形及び買掛金が25億3百万円、未払金が4億14百万円、長期借入金が1億27百万円増加したことによるものです。

当第2四半期連結会計期間の純資産は、前連結会計年度末に比べ14億44百万円増加し、58億90百万円となりました。これは主として利益剰余金が11億83百万円、その他有価証券評価差額金が1億99百万円増加したことによるものです。この結果、自己資本比率は24.0%(前連結会計年度末21.4%)となりました。

(キャッシュ・フローの状況)

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物は、前年同四半期と比較して25億1百万円増加し、61億89百万円となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における営業活動による資金は、前年同四半期と比較して22億59百万円増加し、31億78百万円の収入となりました。これは売上債権の増加額が1億73百万円、棚卸資産の増加額が3億82百万円であったことに対し、税金等調整前四半期純利益が10億1百万円、減価償却費が1億56百万円、仕入債務の増加額が24億84百万円であったことが主たる要因であります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における投資活動による資金は、前年同四半期と比較して6億11百万円減少し、7億2百万円の支出となりました。これは有形固定資産の取得による支出が6億36百万円であったことが主たる要因であります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における財務活動による資金は、前年同四半期と比較して1億96百万円増加し、5億36百万円の支出となりました。これは短期借入金の減少が4億68百万円、長期借入金の返済による支出が5億2百万円であったことに対し、長期借入れによる収入が5億12百万円であったことが主たる要因であります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2024年3月期の業績予想につきましては、2023年8月14日に公表いたしました、業績予想を修正しております。詳細につきましては、本日(2023年11月14日)公表いたしました「第2四半期累計期間業績予想(連結)と実績値との差異及び通期業績予想(連結)の修正並びに繰延税金資産の計上に関するお知らせ」をご参照下さい。なお、連結業績予想は現時点で入手可能な情報に基づいておりますが、実際の数値は今後の様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2023年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	4,216	6,190
受取手形及び売掛金	6,649	6,834
商品及び製品	2,914	3,180
原材料及び貯蔵品	320	456
その他	642	705
貸倒引当金	△13	△20
流動資産合計	14,729	17,346
固定資産		
有形固定資産	2,664	3,280
無形固定資産	244	229
投資その他の資産		
投資有価証券	1,425	1,733
その他	1,927	2,107
貸倒引当金	△198	△198
投資その他の資産合計	3,155	3,642
固定資産合計	6,064	7,153
資産合計	20,794	24,499
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	8,798	11,302
短期借入金	667	200
1年内返済予定の長期借入金	1,014	896
未払金	895	1,310
未払法人税等	121	109
賞与引当金	354	357
その他	523	447
流動負債合計	12,374	14,623
固定負債		
長期借入金	3,204	3,332
役員退職慰労引当金	233	243
退職給付に係る負債	219	226
資産除去債務	97	98
その他	218	85
固定負債合計	3,973	3,985
負債合計	16,348	18,608

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2023年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	100	100
資本剰余金	999	999
利益剰余金	2,664	3,848
自己株式	—	△0
株主資本合計	3,764	4,948
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	538	738
繰延ヘッジ損益	1	—
為替換算調整勘定	129	192
退職給付に係る調整累計額	12	11
その他の包括利益累計額合計	682	942
純資産合計	4,446	5,890
負債純資産合計	20,794	24,499

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2022年4月1日 至2022年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2023年4月1日 至2023年9月30日)
売上高	26,192	31,546
売上原価	20,457	24,481
売上総利益	5,734	7,065
販売費及び一般管理費	5,675	6,158
営業利益	59	907
営業外収益		
受取事務手数料	27	31
受取配当金	3	3
その他	37	32
営業外収益合計	68	68
営業外費用		
支払利息	26	29
支払手数料	6	11
その他	9	0
営業外費用合計	42	41
経常利益	85	933
特別利益		
投資有価証券売却益	—	0
国庫補助金	—	80
特別利益合計	—	80
特別損失		
固定資産除却損	0	1
減損損失	—	11
特別損失合計	0	13
税金等調整前四半期純利益	85	1,001
法人税、住民税及び事業税	21	91
法人税等調整額	△39	△330
法人税等合計	△18	△238
四半期純利益	104	1,239
親会社株主に帰属する四半期純利益	104	1,239

四半期連結包括利益計算書
第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)
四半期純利益	104	1,239
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	38	199
繰延ヘッジ損益	3	△1
為替換算調整勘定	49	63
退職給付に係る調整額	△0	△1
その他の包括利益合計	90	260
四半期包括利益	194	1,499
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	194	1,499
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	85	1,001
減価償却費	158	156
のれん償却額	18	—
減損損失	—	11
国庫補助金	—	△80
固定資産除却損	0	1
投資有価証券売却損益 (△は益)	—	△0
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△0	6
賞与引当金の増減額 (△は減少)	50	3
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	2	4
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	8	9
受取利息及び受取配当金	△6	△7
支払利息	26	29
売上債権の増減額 (△は増加)	△432	△173
棚卸資産の増減額 (△は増加)	△450	△382
その他の資産の増減額 (△は増加)	40	△21
仕入債務の増減額 (△は減少)	1,480	2,484
その他の負債の増減額 (△は減少)	△6	261
小計	976	3,303
利息及び配当金の受取額	5	7
利息の支払額	△26	△28
法人税等の支払額	△38	△104
営業活動によるキャッシュ・フロー	918	3,178
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△57	△636
無形固定資産の取得による支出	△5	△30
投資有価証券の取得による支出	△3	△1
投資有価証券の売却による収入	—	1
その他	△25	△34
投資活動によるキャッシュ・フロー	△91	△702
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△954	△468
長期借入れによる収入	100	512
長期借入金の返済による支出	△555	△502
リース債務の返済による支出	△22	△22
株式の発行による収入	563	—
自己株式の売却による収入	137	—
自己株式の取得による支出	—	△0
配当金の支払額	△0	△55
財務活動によるキャッシュ・フロー	△732	△536
現金及び現金同等物に係る換算差額	56	34
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	151	1,973
現金及び現金同等物の期首残高	3,536	4,215
現金及び現金同等物の四半期末残高	3,687	6,189

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注)	合計
	食材卸売事業	食材製造事業	不動産賃貸事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	23,667	2,473	3	26,144	48	26,192
セグメント間の内部 売上高又は振替高	6	—	66	73	—	73
計	23,673	2,473	69	26,217	48	26,265
セグメント利益又は損失 (△)	337	83	51	472	△19	453

(注) その他は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり物流受託事業です。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容
(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

利 益	金 額
報告セグメント計	472
「その他」の区分の損失(△)	△19
セグメント間取引消去	2
全社費用(注)	△396
四半期連結損益計算書の営業利益	59

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

II 当第2四半期連結累計期間(自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注)	合計
	食材卸売事業	食材製造事業	不動産賃貸事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	28,707	2,778	3	31,490	56	31,546
セグメント間の内部 売上高又は振替高	8	—	66	74	0	75
計	28,716	2,778	70	31,565	56	31,621
セグメント利益又は損失 (△)	1,125	217	55	1,398	△26	1,371

(注) その他は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり物流受託事業です。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容
(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

利 益	金 額
報告セグメント計	1,398
「その他」の区分の損失(△)	△26
セグメント間取引消去	0
全社費用(注)	△465
四半期連結損益計算書の営業利益	907

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

(収益認識関係)

前第2四半期連結累計期間(自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注)	合計
	食材卸売事業	食材製造事業	不動産賃貸事業	計		
首都圏	18,028	2,042	—	20,071	45	20,116
中京圏	1,086	76	—	1,163	2	1,166
関西圏	3,222	210	—	3,433	—	3,433
海外・その他	1,329	143	—	1,473	—	1,473
顧客との契約から生じる収益	23,667	2,473	—	26,141	48	26,189
その他収益	—	—	3	3	—	3
外部顧客への売上高	23,667	2,473	3	26,144	48	26,192

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり物流受託事業です。

当第2四半期連結累計期間(自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注)	合計
	食材卸売事業	食材製造事業	不動産賃貸事業	計		
首都圏	22,377	2,244	—	24,622	55	24,677
中京圏	1,150	88	—	1,238	1	1,239
関西圏	3,254	259	—	3,513	—	3,513
海外・その他	1,925	186	—	2,112	—	2,112
顧客との契約から生じる収益	28,707	2,778	—	31,486	56	31,543
その他収益	—	—	3	3	—	3
外部顧客への売上高	28,707	2,778	3	31,490	56	31,546

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり物流受託事業です。